



## 小諸市がめざす将来像は…

小諸市の将来像

### 住みたい、行きたい、帰ってきたい、まち 小諸

自然と文化と人々が織りなすハーモニーで  
みんなにやさしい、活気あふれる 高原の城下町に

小諸市は「住みたい 行きたい 帰ってきたい まち」をめざします。このめざすまちは、今住んでいる人にとっては、本当に「住んで良かった」と思えるまちであり、それ以外の人にとっては、「住みたい」「行ってみたい」と思える魅力あるまちであり、就学や就職などのために一旦はこの地を離れても、常にふるさとに思いを寄せ、やがては「帰ってきたい」と思える心温かいまちです。そのようなまちをめざす上では、小諸市のお宝である「恵まれた自然環境」や「長い歴史の中で育まれてきた伝統や文化」、「人々の絆」が欠かせません。これらのお宝にさらに磨きをかけ、ハーモニーを奏できるように調和させることにより、すべての人が安全に安心して暮らせる、活気にあふれた「高原の城下町」の再生をめざします。



## 具体的な目標 2027年度に

人口**38,279**人に(うち15歳未満4,478人)

「住みたいまち、帰ってきたいまち」が実現すると、何よりも定住人口の増加につながり、現在予測されている人口減少に一定程度の歯止めがかかると考えられることから、「人口」を目標としました。また、若年層の人口増加がより重要であることから、総人口のうちの「年少人口(15歳未満)」も併せて目標としました。

小諸市に住み続けたい市民の割合**75%**

将来像で掲げる「住みたいまち」であることは、今住んでいる市民にとって、本当に「住んで良かった」と思えるまちであり、「今後も住み続けたいまち」であると考えられることから、「小諸市に住み続けたい」と思っている市民の割合を目標としました。

交流人口**544**万人

将来像で掲げる「行きたいまち、帰ってきたいまち」であれば、観光客や帰省客などを対象とした「観光・交流人口」の増加につながることから、交流人口の増加(現在の494万人から12年間で10%増)を目標としました。



## 役割分担

将来目標を達成するために、小諸市自治基本条例に基づいて、市民、市民活動団体、区、事業者、市役所はそれぞれの役割を果たします。**【市民の役割】**市民は、互いに暮らしやすい地域社会を実現するよう努めるものとします。**【市民活動団体の役割】**市民活動団体は、地域社会の担い手であることを自覚し、それぞれの特性を生かしながらかまちづくりの推進に努めます。**【区等の役割】**区は、対象地域における共通課題を解決し、福祉の向上を図ります。区は、まちづくりの推進をするため、対象地域に住む人等の意見の把握と集約に努めます。



小諸市のまちづくりの柱は6つ。それぞれに目標を達成するための「めざそう値」を定めました。

※詳しい内容については  
ホームページからご覧ください。

小諸市 総合計画

## 1 子育て・教育

目標 **心豊かで自立できる人が育つまち**

「少子化」「超高齢化」「急激な人口減少」と社会環境が変化する中、子育て・教育を地域社会で支える仕組みづくり、市民の生涯にわたる学び合いによる生きがいづくり、地域づくりが重要となっています。人・自然・環境・生き物などあらゆるものを思いやる優しさや、家族・仲間・地域などとのつながりを大切に作る気持ちなど、豊かな心を市民一人ひとりが生涯にわたり育み、小諸の財産である自然・伝統・文化・人々の絆を守り、活かしていくまちをめざします。厳しい環境の中、様々な困難に打ち勝ち、たくましく生き抜く力を持つ、自立した人材の育成をめざします。

◎本を身近に感じている人

めざそう値 2015年度…**45%** → 2027年度…**63%**

◎困っているときに相談できる人がいる

めざそう値 2015年度…**46%** → 2027年度…**64%**

◎文化・芸術・スポーツを身近に感じている人

めざそう値 2015年度…**35%** → 2027年度…**63%**

◎学校へ行くことを楽しいと思っている児童生徒

めざそう値 2015年度…**83%** → 2027年度…**90%**

◎小諸に関心を持ち、小諸のことを調べたい、学びたいと思っている児童生徒

めざそう値 **2027年度に向上させる**



## 2 環境

目標 **自然環境を守り、循環型社会の進んだまち**

小諸には、高い晴天率や「浅間山」「千曲川」に代表される豊かな森林・水資源など、市の財産といえる恵まれた自然環境があります。この恵まれた自然環境は、積極的に保護・活用を図っていかねば、貴重な財産が次第に埋もれ、最終的には失われていく危険性もあります。小諸の貴重な財産である自然環境を、持続可能なものとするため、個人・団体を問わず、あらゆる主体の「環境意識」を醸成するとともに、自然環境を守るための「仕組み」の構築をめざします。また、それらに基づく様々な取り組みを「地域活動」として実践し、循環型社会の推進をめざします。

◎ひとり一日当たりのごみ排出量

めざそう値 2015年度…**612g** → 2027年度…**596g**

◎ごみのリサイクル率

めざそう値 2013年度…**31.7%** → 2027年度…**32.5%**

◎環境衛生の取り組みに対する市民満足度

めざそう値 2015年度…**24%** → 2027年度…**29.5%**

◎市民が学ぶ環境学習の人数

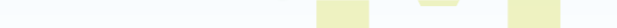
めざそう値 2015年度…**802人** → 2027年度…**1036人**

◎環境意識のある企業の数

めざそう値 2015年度…**18社** → 2027年度…**30社**

◎事業系燃やすごみの排出量

めざそう値 2015年度…**2008t** → 2027年度…**1974t**



小諸市総合計画第5次基本構想がめざす  
小諸市のまちづくり



◎污水处理施設未接続家屋数

めざそう値 2015年度…**3480戸** → 2027年度…**2190戸**

◎環境美化活動の実施回数・参加人数

めざそう値 2015年度…**298回** → 2027年度…**330回**

めざそう値 2015年度…**37763人** → 2027年度…**39052人**

◎資源回収における回収量・実施件数

めざそう値 2015年度…**1248t** → 2027年度…**1399t**

めざそう値 2015年度…**511件** → 2027年度…**540件**



## 3 健康・福祉

目標 **一人ひとりが健康に心がけ、みんなで支え合うまち**

「少子化」「超高齢化」「急激な人口減少」という社会環境の中、誰もが、住みなれた地域で、いつまでも「元気」で「生きがい」を持って暮らすことができる、みんなにやさしい地域づくりが求められています。そのために、一人ひとりが子どものときから健康習慣を身に付け、生涯を通じて自分の健康を大切にする意識の醸成をめざします。また、地域内の様々な主体が連携を図り、互いに協力することにより、社会的弱者を地域全体で支え合うまちをめざします。

◎地域で支え合っていると感じている人

めざそう値 2015年度…**41%** → 2027年度…**65%**

◎安心して相談できる相談先がある人

めざそう値 2015年度…**46%** → 2027年度…**64%**

◎医療満足度

めざそう値 2015年度…**54%** → 2027年度…**64%**

◎介護満足度

めざそう値 2015年度…**20%** → 2027年度…**45%**

◎健診受診率(国保特定健診)

めざそう値 2014年度…**37.1%** → 2027年度…**60%**

◎健康寿命(上段=男性、下段=女性)

めざそう値 2010年度…**79.2歳** → 2027年度…**80.50歳**

めざそう値 2010年度…**84.26歳** → 2027年度…**86.00歳**

◎スポーツを身近に感じている人

めざそう値 2015年度…**35%** → 2027年度…**63%**



## 4 産業・交流

目標 **地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち**

まちの活気・賑わいを創出するためには、様々な市内産業の競争力を高めることが必要であり、「住みたい 行きたい 帰ってきたい まち」であるためには、市民の生活の基盤となる雇用の確保も重要です。このため、地域の資源となる小諸の特性を活かし、第1次、第2次、第3次の各産業の活性化や、6次産業化等の新たな産業の振興をめざします。また、まちの活気・賑わいを創出する方策としては、移住定住人口や観光交流人口の増加も不可欠です。このことから、地域の資源を活かしてまちの魅力の向上を図り、移住定住の促進や、「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりの推進をめざします。

◎農地所有適格法人・農業生産組織数

めざそう値 2015年度…**14社** → 2027年度…**30社**

◎針葉樹対応まきストーブ・ボイラー設置数

めざそう値 2015年度…**0件** → 2027年度…**60件**

◎企業誘致数

めざそう値 2014年度…**2件** → 2027年度…**3件**

◎懐古園有料入園者数

めざそう値 2014年度…**18.8万人** → 2027年度…**21.6万人**

◎新築住宅着工数

めざそう値 2014年度…**118件** → 2027年度…**175件**

◎(仮想)交流人口

めざそう値 2014年度…**494万人** → 2027年度…**544万人**



## 5 生活基盤整備

目標 **安心して快適に暮らせるまち**

「住みたい 行きたい 帰ってきたい まち」であるための最も重要な基盤は、すべての人が安全に、そして安心して生活ができるまちであることです。さらに、気持ちよく、利便性の高い生活を可能とするためには「快適さ」も必要です。これらのために、「物」「人」「情報」がスムーズに流れる様々なインフラの維持・整備について、地域での推進をめざします。

◎コミュニティ交通利用者数

めざそう値 2015年度…**8.5万人** → 2027年度…**9.7万人**

◎道ぶしんの実施件数

めざそう値 2015年度…**156件** → 2027年度…**200件**

◎防災訓練の実施率

めざそう値 2015年度…**48%** → 2027年度…**100%**



## 6 協働

目標 **すべての主体が参加し、協働するまちづくり**

小諸市が、「生きがい」「働きがい」「住みがい」のあるまちとなるためには、市民をはじめ、あらゆる主体がまちづくりに参加し、協働することが必要です。このため、すべての主体へ、「参加と協働」の理念を定めた「小諸市自治基本条例」の浸透を図るとともに、その理念を具現化し、実践していくための「参加と協働のためのルール」を構築します。そして、各主体が、まちづくりの目的・目標を共有し、同じ志のもとに、それぞれの役割を自覚し、自主性をもってその責任を果たしつつ、互いに情報共有しながら、連携、協力し合って、「参加と協働のまちづくり」を推進します。

◎小諸市自治基本条例があることを知っている市民

めざそう値 2015年度…**15.6%** → 2027年度…**70%**

◎市民参加型の会議等の周知や情報提供に満足している市民

めざそう値 2015年度…**5.5%** → 2027年度…**70%**

◎市民参加型の会議等の機会が適切に提供されていると思う市民

めざそう値 2015年度…**18.8%** → 2027年度…**70%**

◎市民参加型の会議等に参加したいと思う市民

めざそう値 2015年度…**25.8%** → 2027年度…**50%**

◎区等で開催される行事や活動に参加したいと思う市民

めざそう値 2015年度…**42.4%** → 2027年度…**65%**

